本市SDGs推進における中心的取組と相乗効果

自治体SDGsモデル事業名：「富士みち」を軸とした脱炭素ツーリズムなまちづくり	提案者名：山梨県富士吉田市

取組内容の概要：世界文化遺産富士山の自然・環境・景観・文化など普遍的な価値を守り、次世代に継承するため、市街地からアプローチ可能な吉田口登山道を活かし、脱炭素先端技術の活用による環境負荷のかからない楽しみ方を麓のまちとして提案、市内を抜け富士山へつながる一本道富士みちを軸としてとらえ、脱炭素ツーリズムを推進する。

経済

富士と人の力で共にまちをつくり、
将来に引き継ぐ

【課題】民間事業者の力の発揮と結集

●テキスタイルと芸術が融合する国内唯一の布の芸術祭
『FUJI TEXTILE WEEK』
●市場のニーズを分析、地域の魅力を活かした商品開発
『㈱まちづくり公社の地域商社事業』
●首都圏からの人流を生み出し関係人口の創出、企業進出を図る
『まるごとサテライトオフィス事業』

社会

富士の恵みを共に活かし、
新しい魅力を生み出し、人を呼ぶ

【課題】クリエイティブ人材の育成と集積

●まちの魅力・産業・人を再発見、高い愛着と回帰意識を醸成
『郷土愛醸成プロジェクト』
●学びと切磋琢磨の機会創出、地域クリエイター集団の育成
『ITコンソーシアム設立によるインキュベーション』
●空き家を貸したい人と借りたい人を結びつけ、定住へつなぐ支援体制強化
『空き家バンクと定住奨励金制度』

環境

常に富士の雄姿と共にある、それを誇りとし、その環境を守り抜く

【課題】信仰の対象と芸術の源泉を継承

●今に続く富士山の登山文化を、修理保存復元し複合的な価値を継承
『吉田口登山道の保存と活用』
●麓から登る富士山、眺める富士山、多様性のある四季折々の富士山の楽しみ方
『脱炭素ツーリズムの推進』
●富士山を食害から守り、有害鳥獣から加工品の製造を行い新たな地域ブランドを創出
『富士山ジビエセンター整備』

社会面の相乗効果①
産業の後継者確保
積極的な創業

経済面の相乗効果①
多様な働き方の創出
若者や女性の雇用確保

市内を抜け富士山へ続く一本道「富士みち」を世界一の道へ！事業
①新しい地域公共交通を生み出し住み続けられるまちを実現富士みちへの自動運転EVバス社会実装
②地域課題の土地活用へ御師まち・中心市街地とコンセプトに沿ったエリア分けと空き家の掘り起こし
③まちづくりファンドを活用し民間事業者の提案による賑わい空間の創出や交流促進施設の整備

環境面の相乗効果①
シティプロモーション強化
販路拡大と顧客作り

経済面の相乗効果②
富士山の恩恵を再認識
サステナブルな取組創出

環境面の相乗効果②
国内外観光客の回遊性向上
まち全体の賑わい創出

社会面の相乗効果②
シビックプライド醸成
環境保全の取組加速